## 特許協力条約

PCT

特許性に関する国際予備報告 (特許協力条約第二章)

(法第 12 条、法施行規則第 56 条) [PCT36 条及びPCT規則 70] REC'D 2 2 JUL 2005

WIPO PCT

出願人又は代理人 の書類記号 F0317PCT	今後の手続きについては、様式PCT/I	PEA/416を参照すること。				
国際出願番号 PCT/JP2004/003623	国際出願日(日.月.年) 18.03.2004	優先日 (日.月.年) 19.03.2003				
国際特許分類 (IPC) Int.Cl. <sup>7</sup> A61K7/00, 7/021, 7/032, 7/06, 7/15, 7/32, 7/38, 7/42, 7/48						
出願人 (氏名又は名称) 株式会社カネボウ化粧品						

株式会社ガイボッ化社品
1. この報告書は、PCT35条に基づきこの国際予備審査機関で作成された国際予備審査報告である。
法施行規則第 57 条 (PCT36 条) の規定に従い送付する。
2. この国際予備審査報告は、この表紙を含めて全部で3 ページからなる。
3. この報告には次の附属物件も添付されている。 a. 🔽 附属書類は全部で1 ページである。
▽ 補正されて、この報告の基礎とされた及び/又はこの国際予備審査機関が認めた訂正を含む明細書、請求の範囲及び/又は図面の用紙(PCT規則 70.16 及び実施細則第 607 号参照)
「 第 I 欄 4. 及び補充欄に示したように、出願時における国際出願の開示の範囲を超えた補正を含むものとこの 国際予備審査機関が認定した差替え用紙
(電子媒体の種類、数を示す)。
b. 「電子媒体は全部で 配列表に関する補充欄に示すように、コンピュータ読み取り可能な形式による配列表又は配列表に関連するテー プルを含む。(実施細則第 802 号参照)
4. この国際予備審査報告は、次の内容を含む。
▼ 第1欄 国際予備審査報告の基礎
「 第Ⅱ欄 優先権
第11個 優先権 第11個 新規性、進歩性又は産業上の利用可能性についての国際予備審査報告の不作成
「 第IV欄 発明の単一性の欠如
♥ 第V欄 PCT35条(2)に規定する新規性、進歩性人は産業工ン(4)に対しています。 けるための文献及び説明
第VI欄 ある種の引用文献
第VI標 ある種の引力人間で 第VII標 国際出願の不備
「 第四概 国際出願に対する意見

国際予備審査の請求書を受理した日 18.01.2005	国際予備審査報告を作成した日 06.07.2005
名称及びあて先 日本国特許庁 (IPEA/JP)	特許庁審査官(権限のある職員) 高岡 裕美
郵便番号100-8915 東京都千代田区段が関三丁目4番3号	電話番号 03-3581-1101 内線 3452

	特許性に関する	国际了偏致古		国际山极田 7	
第I欄	報告の基礎				
1. この	国際予備審査報告は、下	記に示す場合を除くほか	、国際出願	何の言語を基礎と	こした。
	の報告は、	語による翻訳文を	基礎とした	n	·
٠ ٦	とれは、次の目的で提出	された翻訳文の言語であ	る。		
	PCT規則12.3及び	23.1(b)にいう国際調査			ļ
	PCT規則12.4にい	ラ国際公開 55.3にいう国際予備審査			
ı					サンノム人にはダナスために提出され
2. この	報告は下記の出願書類で	と基礎とした。(法第69	た(PCTI n却告に添ん	(4条) の規定に けしていない。	基づく命令に応答するために提出され )
た差替え	用紙は、この報告におり	って「出願時」とし、この	/ <b>/</b>		,
Γ	出願時の国際出願書類				•
V	明細書		il i <del>see nile</del> t <del>e</del>	መሠታኯቱት መ	
	第1-108	ペーシ 	、出願時に	- 6年日 04 いこ ひぃ	) 付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第	ページ ページ	*`		付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第				• •
F	請求の範囲	_	itiseenki.	- 担山そわたもの	
		2.2 			
	第		* 18. (	1. 2005	付けで国際予備審査機関が受理したもの 付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第		[*、		付けで国際予備審査機関が受理したもの
					•
	図面	、	出願時	に提出されたも	Ø.
l	第	 ページ/図	і*.	- 12 да с 4 - 1 - 0	付けで国際予備審査機関が受理したもの
	第		*		の _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの _ 付けで国際予備審査機関が受理したもの -
\ F	配列表又は関連する	デーブル 甫充欄を参照すること。			
	HL/152(-127)				
3. 「	補正により、下記の智	f類が削除された。		-	•
" '					_ ページ
,	<b>厂</b> 明細費	第 第			
	厂 請求の範囲 図面	第			_ ページ/図
ļ	一 起刻表 (具体的	に配載すること)			
	配列表に関連す	るテーブル(具体的に配	載すること	)	<del></del>
	アクカモは 補充棚	に示したように、この報	告に添付さ	れかつ以下に示	く と ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・
4. 1	この報告は、個儿が	められるので、その補正	がされなか	ったものとして	作成した。 (PCT規則 70.2(c))
Į		第			ページ
	「明細書 「請求の範囲	傑			_ _ 項
	・図面	第			_ ページ/図
1	第 新知恵 (国体放	に記載すること)			
	配列表に関連す	るテーブル(具体的に訂	記載すること	:)	
				•	
			r. assessed a decided to	z = しぷたエ	
1 .	いかいナス担人 ZA	田紙に "superseded" さ	と記入される	o _ <i>と かのる。</i>	

舅	¥V概	新規性、進歩性又は産業上の それを裏付ける文献及び説	の利用可能性 明	についての法第 12 条(P C T 35 条 (2))に定める見解、	
-   :		見解		•	
	新	規性(N)	請求の範囲 請求の範囲	1-22	有 無
	進	歩性(IS)	請求の範囲 請求の範囲	1-22	有無
	産	業上の利用可能性(IA)	請求の範囲 請求の範囲	1-22	有無

## 文献及び説明(PCT規則 70.7)

国際調査報告では以下の文献1-2を引用した。

文献 1: WO 01/015658 A1 (カネボウ株式会社) 文献 2: US 2567110 A (Corning Glass Works)

文献1に記載の化粧料は $[(CH3)_3SiO]_3SiCH_3$ (以下、化合物2とする)を配合することにより、優れた揮発性及び感触、並びに優れた安定性を発揮するものであって、上記の化合物2は本願発明の化合物 $[(CH3)_3SiO]_4Si$ (以下、化合物1とする)と、シラン基に結合する1つの置換基を除いてその化学構造は一致している。

一方、文献2の第5カラム及びExample 20-21には、上記化合物1及び2は原料の一部を同じくして製造されるものである旨が開示されている。

しかしながら(1)文献2は上記化合物を化粧料成分として適用することを何ら開示するものでないこと、及び(2)この出願の明細書第73頁に記載の実施例12と比較例23、及び実施例17と比較例29から、化合物2と比べて、化合物1が化粧料成分として顕著な優位性を示すことが確認されていることから、両化合物の化学構造は類似しているが、化粧料成分としての化合物1の有意な特性は予測し得ないものと認められる。

したがって、この出願に係る発明の進歩性は上記各文献によって否定されるものでない。

項1~5のいずれか1項記載の化粧料。

- 9. 前記ノニオン系界面活性剤が、ポリエーテル変性オルガノポリシロキサン、アルキル・ポリオキシアルキレン共変性シリコーン、フッ素化ジメチコノール、パーフルオロアルキル・ポリオキシアルキレン共変性シリコーン、パーフルオロアルコキシ・ポリオキシアルキレン共変性シリコーン、グリセリル変性シリコーン、ポリグリセリル変性シリコーン、パーフルオロアルキル・ポリグリセリル共変性シリコーン、及び、グリコシル変性シリコーンから選ばれる少なくとも1種である請求項8記載の化粧料。
- 10. メチルフェニルポリシロキサンをさらに含み、化粧料が洗浄料である請求 項1~5のいずれか1項記載の化粧料。
- 11. 顔料をさらに含む請求項1~5のいずれか1項記載の化粧料。
- 12. ポリブテンをさらに含み、化粧料が油性化粧料である請求項11記載の化粧料。
- 13. 水と、ソルビタン脂肪酸エステル、ポリグリセリン脂肪酸エステル、蔗糖脂肪酸エステル、多糖アルキルエーテルからなる群より選ばれる少なくとも1種の界面活性剤をさらに含み、化粧料が固形メイクアップ化粧料である請求項11記載の化粧料。
- 14. 多価アルコール又は糖類からなる群より選ばれる1種以上のポリオール 化合物をさらに含む請求項13記載の化粧料。
- 15. シリコーン樹脂、シリコーン変性有機粘剤、フッ素変性シリコーン樹脂、 又はこれらのうちの2つ以上のものの混合物をさらに含有することを特徴 とする請求項1~14のいずれか1項に記載の化粧料。
- 16. 紫外線防御成分をさらに含有することを特徴とする請求項1~15のいずれか1項記載の化粧料。
- 17. (補正後) 下記一般式(A) で示されるテトラアルコキシシランと 下記化学式(B) で表されるヘキサメチルジシロキサンを、

$$Si(OR)_4$$
 (A)

(Rは炭素原子数1~10の1価炭化水素基を表す。)

$$(CH_3)_3$$
 SiOSi  $(CH_3)_3$  (B)